### 就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名	桜ファーマーズ 2 n d
住 所	熊本県宇城市松橋町松橋84番地5
電話番号	0964-53-9434

	( I ) <b>労働時間</b>					
①1日の平均労	働時間が7時間以上					
②1日の平均労(	働時間が6時間以上7時間未満					
③1日の平均労(	働時間が5時間以上6時間未満					
④1日の平均労(	働時間が4時間30分以上5時間未満		40			
⑤1日の平均労(	働時間が4時間以上4時間30分未満	0				
⑥1日の平均労(	働時間が3時間以上4時間未満					
⑦1日の平均労(	働時間が2時間以上3時間未満					
⑧1日の平均労	働時間が2時間未満		点			

点 ①90点 ②80点 ③65点 ④55 点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動					
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用 者に支払う賃金の総額以上					
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の 各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利 用者に支払う賃金の総額以上					
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	0	40			
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上					
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の 各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利 用者に支払う賃金の総額未満					
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用 者に支払う賃金の総額未満		点			

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

1700m 200m 970m 920m 9	10m	O 20,111
(Ⅲ)多様な働き方(※)		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	0	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	0	15
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	0	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	0	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	0	
小計 (注1)	5	点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

事業所番号	4312700836
管理者名	志垣 誠也
対象年度	令和5年度

(IV) 支援力向上(※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	0	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ	•	
いずれか一方のみの取組を行っている		
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している		0
<u>⑥ピアサポーターの配置</u>		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた 規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	1	点
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2	点以下:	0点

### (V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官 公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その 結果をインターネット等により公表している

0 10 点

1事例以上ある場合:10点

#### (VI) 経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。



期限内に提出していない場合:-50点

### (Ⅷ)利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識 及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内 容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他 の方法により公表している。



1事例以上ある場合:10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

点	/200点
	点

# 就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績Ⅰ~Ⅳ、Ⅵ)

(I) 労働時間								
前年度(年度)								
雇用契約を締結していた全て		Ī	雇用契約を締結していた			利用者の1日の		
の利用者における延べ労働時	13, 207		延べ利用者数	2, 970	١.	平均労働時間数	4. 45	
間		時間			一人			時間
			(Ⅱ)生産	活動				
会計期間(4月~	3月)							
前々々年度(年度	)							
生産活動収入から経		1	利用者に支払った賃			収支		
費を除いた額		円	金総額		円	40.00		円
前々年度(年度)		_						
生産活動収入から経		7	利用者に支払った賃		7	.1		
費を除いた額		円	金総額		円	収支		円
前年度 (令和5年度)		_						
生産活動収入から経	11, 978, 994	Ī	利用者に支払った賃	11, 968, 186		収支	10, 808	
費を除いた額	11, 070, 304	円	金総額	11, 300, 100	円	7/2	10, 000	円
			(Ⅲ)多様な	働き方				
****								
前年度( 年度)におけ	る取組 ( <u>全体表「(Ⅲ)多株</u>	<b>集な働き</b>	<u>方」の各項目において「</u> 就	<u> </u>	と選択した	<u>:場合に記載</u> )		
①免許・資格取得、検定の	丹倫制経に関する制度	<b>⊘</b> ∌IB	者を職員として登月	日する制度	3#5	と勤務に係る学	働条件及び服務規	往
◎免許・資格取得、検定			日本職員として登用 日者を職員として登用				条件及び服務規律	
に関する制度を定めてい	········· <u>···</u> ··	定めて				トる制度を定め		V
1-1217 011712 C.2C.07 C.7					1121.2	U 11/2 C /C * *		
④フレックスタイム制に	:係る労働条件	⑤短睛	寺間勤務に係る労働タ	<b>条件</b>	⑥時差	皇出勤制度に係	る労働条件	
◎フレックスタイム制に係	る労働条件を	◎短問	時間勤務に係る労働条	€件を	◎時差	<b>E出勤制度に係</b>	る労働条件を	
定めている	✓	定めて	こいる	✓	定めて	こいる		
a		~ ·						
⑦有給休暇の時間単位取得			<b>病休暇等の取得に関す</b>					
◎有給休暇の時間単位取得			病休暇等の取得に関す 	る事項を□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□				
を定めている	<b>V</b>	定めて	こいる	✓				
			(IV) 支援	力向上				
			1					
前年度(5年度)における	る取組( <u>全体表「(Ⅳ)支援</u>	力向上」	の各項目に取組あり選択	<u>とした場合に記載</u> )				
<b>○□#</b> □=□=±<	****	<b>ОП</b> .	• <b>*</b> ^*	+#r - +1 · - * =	<b>⊘</b> +==		7 T T T T T	
①研修計画に基づいた外部の			を、学会等又は学会記			と 実習の実施		
◎研修計画を策定してい			冬、学会等又は学会説 301 - 80ましている	等において			€習の実施している 見察・実習を受け入れで	- L 3
◎外部研修、もしくは内 1回以上実施している。	क्रणाङ् <i>र</i> ☑		回以上発表している 、学会等名			的事業者名	元宗・天白で文17八411	C 0 1 4 1
「国政工夫心している。		実施		B		可要来有 在 3/参加者数	月 日	
※研修名 虐待防止及び	<b>権利擁護等</b>		i	,		事業所名	//	·······
研修講師 緒方雅大	IE TIJJELQ VI	掲載	······	<b>日</b>	***********	ラス///ロ 日/参加者数	月 日	Τ
実施日・受講者数 1	月 24 日 5 人		テーマ			=1Z.M. H.M.		
④販路拡大の商談会等へ			の人事評価制度			アサポーターの		
◎販路拡大の商談会や展	示会等へ1回以上		の人事評価制度を整	整備している □		サポーターを配		
参加している。	Ш		核人事評価制度を周知	している □			よ「障害者ピアサポード	研修」
※商談会等名			平価制度の制定日	年 月 日		受講している		
主催者名			平価制度の対象職員数		※配置		1~ 月 日	
日時	月日		昇給・昇格を行った者   東京体制度の関ロオ		就業			
内容		自該ノ	(事評価制度の周知力	) 法	職務	内谷		
⑦第三者評価		<b>(2)</b>	<b>豪標準化規格が定め</b> が	- 相格等の認証等				
◎前年度末日から過去3	年以内に		SOが制定したマネジ					
福祉サービス第三者評			A等の認証等を受けて					
		79611						
※評価を受けた日	月日	※認証	を受けた日 月	日				
第三者評価機関			等の内容					
/117\ 红磁头单趾病								
(Ⅵ) 経営改善計画								
◎指定権者である都道府	県(指定都市・中核市)	^,						
経営改善計画書へ提出	した。							

年 月 日

※受理日

## 就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	桜ファーマーズ2nd
住 所	熊本県宇城市松橋町松橋84番地5
電話番号	0964-27-4433

事業所番号	4312700836
管理者名	志垣 誠也
対象年度	令和5年度

## 地域連携活動の概要

#### <活動内容>

#### 〈活動場所〉

株式会社さくらファーム

#### 〈実施日程〉

令和5年4月~現在まで

#### 〈実施した利用者の知識能力向上に係る実施の概要〉

ペットフード製造

〈利用者数等〉

ペットフード製造 7名、その他の施設外就労 10名

### <目的>

#### 〈利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい〉

他者との関わりを持つことで社会性を身につけ一般就労に向けての作業技術の向上を目指す。 畜産と福祉の新たな共存の形の構築。

#### 〈利用者にとってのメリット〉

得手不得手を知り自身に適した作業を見出すことができる。また株式会社さくらファーム での正規雇用検討して頂いている為、一般就労へのステップアップが可能である。

#### <成果>

#### 〈実施した結果〉

関連企業より専門的な知識を持ったスタッフを出向してもらう事で支援員の技術 面を完全にカバーができ生産性をあげることができた。

#### 〈得られた成果〉

業務請負先の人材不足を桜ファーマーズ2nd利用者の作業により人員のカバーに て安定した作業の継続、生産性を高め企業及び地域社会への貢献ができた。

#### 〈課題点〉

就労される利用者ニーズを叶えるため様々な作業内容の構築。

## <活動の様子>

ペットフード加工/計量/袋詰め





(加丁品) 計量等





## 連携先の企業等の意見または評価

#### 連携した結果に対する意見または評価

さくらファームは四期目を迎えましたが、創業期から現在まで多くの利用者様に作業を行っていただいております。利用者様の個々の能力は非常に高く、経験を重ねるにつれ効率が上がり出来高が増えております。くわえて最終製品は丁寧で美しい仕上がりとなっています。現在の商品のラインアップは10品目以上あるのですが、その殆どは利用者様の手によって作り出されています。手先が器用なうえ、大変真面目でやる気に溢れており、仕事に向き合う姿勢はさくらファームの従業員の刺激になっております。さくらファームにとって利用者様は必要不可欠な大きな戦力です。

### 今後の連携強化に向けた課題

さくらファームでは、新規取引先の件数を増やしております。また、時代の二ーズに合った多くの新商品を開発・販売しております。今後、社業を安定化させ更に伸長させていくには、利用者様の更なる技術向上と定着化、および人員の増加が必要であると考えており、連携強化を深め課題を解決していこうと考えています。

連携先企業名	株式会社 さくらファーム	担当者名	冨田 大之

## 就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	桜ファーマーズ2nd
住 所	熊本県宇城市松橋町松橋84番地5
電話番号	0964-27-4433

事業所番号	4312700836
管理者名	志垣 誠也
対象年度	令和5年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

### <活動内容>

- ・活動場所 桜ファーマーズ2nd
- ・実施日程 令和5年4月1日~現在
- ・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要

事業所内での販売店の情報共有、作業工程、道具の選択を利用者の方と意見交換会を行う。様々な視点や特性にお応じた作業 配置をスタッフ、利用者の方と検討行う。

利用者数 6~10名

### <目的>

・利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい

利用される方が作る商品がどの様な場所で販売されているか知り買う側はどの様なタイプティを求められているかを知る。

- 又、作業効率がよくなるための道具の選択を個々の利用者の方に行う
- ・利用者にとってのメリット

利用者の方が自信ややりがいをもって作業に取り組んで頂く。

#### <成果>

・実施した結果、得られた成果

利用者の方が自信をもって家族や友人に作った商品の紹介ができているが 増えている

・課題点

商品によっては硬くてハサミで中々切れない事により他の道具を使用した ことによる事故発生のリスクマネジメントが必要である

### <活動の様子>

原料のカット(仕分け)





計量



梱包(パッキング)



## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

利用者の方一人ひとりの個性(特性)に応じ作業の行程分けを行っている(計量、パッキング、カット)。個々の能力の向上に合わせて請負先に商品開発や販路の開拓を提案している。

連携先企業(担当者)

## 利用者からの意見・評価

- ・ペットを飼っている為、楽しみながら作業が出来ている。
- ・時々ハサミで切れない物がある為、色々道具を試してみたい。
- ・椅子に座っての作業が多いため身体に障がいが合っても作業が出来嬉しく思う。
- ・生活リズムが良くなり体調が良くなった。